



# こくろうよなご

第6号

2024年11月25日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

## 木次線スイッチバックを体



2024/11/20

11月20日、木次線の利用促進の一環として、木次線利用促進協議会が催している「3段式スイッチバック体験」に参加してきました。

往路は、出雲横田駅から乗車、途中木次線の見どころでもある「3段式スイッチバック」を楽しみ、三井野原駅で下車、復路はバス利用にて出雲横田駅に帰着をするというものです。

当日は、退職者の会の皆さんも含めて、総勢14名に参加をして頂きました。

前日の悪天とは打って変わり、青空と紅葉

## 「ツナグ」の登録と活用を！

去る11月13日、第一回組織対策会議を開催しました。

倉下委員長より挨拶を受け、組織対策委員会の設置を確認、情報発信アプリ「ツナグ」の登録と活用について意思統一を行なってきました。

討議では、職場状況と組織強化・拡大の現状と課題などについて、活発な意見が交わされてきました。

職場状況では、「社会人採用者が配属となるが、技術継承は出来ていない。管理職も仕

事が分かっていない」「(工務)「要員が足りない。育児で時短勤務の方などに目が向く。MVにも列が出来る。年寄りや乗るなどという事かと叱られる。お客様を待たせない様にす

るが、これでいいの不安を持つての取扱いとなる」(駅)「これまで出雲市までの行路が米子までとなる。シニアなので行きたくないと言っても、線路見習いはして貰うかもと言われる。泊りの当直が一人になって、睡眠時間は当直不在にな

## フードドライブの協力 感謝です！

11月17日、境港市民交流センターにて「第21回労福協まつり」が開催されました。当日、受け付けられた「フードドライブ」には、組合員の皆さんから頂いた沢山のお米と食料品を預けて頂きました。板いた品物は「子ども食堂」などで使用いただく予定です。ありがとうございました。



の下、短い時間ではありましたが、木次線の魅力がたつぷりと堪能することが出来ました。

はじめて木次線を利用するという参加者の一人は「山間の町でも沿線には家もあって、線路が無くなれば過疎

化が進むだろう。この線路が岡山・広島・島根と繋がっていること考えると無くしてはいけない」との感想を寄せてくれました。

木次線維持・存続に向け、今後も様々な取組を展開します。



## 災害対応・現場に寄り添って

同じく11月13日、第一回業務部長会議を開催してきました。

はじめに9月に妥結した「24年度の労働協約」について議論してきました。

今年度の労働協約の中心は、来年5月の「育児・介護休業法」の改正に先んじた内容になっていくという事だと思えます。

育児や介護に関わる制度が新設・拡充をされましたが、それによる要員増の話はありませんでした。これですべて、十分に制度

運休への対応についても議論になりました。

運休区間についてはバスでの代行輸送が実施をされてますが、間接社員の応援はもちろ

ん、現場社員への負担も大きいことが報告されていきました。また、特急定期の払い戻しへの支社の対応が遅く、現場での苦情の要因となっていること、利用者の説明についても支社からの指導が無く、現場の案内に苦慮している事などが報告されていきました。

スムーズな対応を求めて、現場と地本と連携して取り組むことを確認してきました。